



上川井だより

令和3年 5月28日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎真紀子

伝え合い 高め合い

副校

長 高嶋 聡

校庭のアジサイの可憐な花が開きはじめました。

上川井小学校に着任して2か月が過ぎました。初めて上川井小を訪れた日、校庭の見事な桜が満開となって迎えてくれました。緑に囲まれ、朝は様々な鳥の声を聴くことができる自然の豊かさを毎日感じています。

全校児童が117名と、今まで自分が勤務した学校と比べてとても人数の少ない上川井小ですが、児童がとても元気よく挨拶をしてくれる姿や、休み時間に校庭で元気よく遊ぶ姿に子どもたちの活気を感じます。コロナウィルス感染症拡大の影響で、保護者の皆様、地域の方々とは直接お会いする機会が減り、本来の上川井小の様子をまだ理解できていない部分もあるとは思いますが、少ない機会の中でも保護者・地域の皆様との連携を大切にしていきたいと思っています。

いよいよ明日は上小オリンピックです。今年度も昨年度同様に種目を絞っての午前開催となります。地域の皆様をご招待できないことはとても残念ですが、児童の安全のためとご理解いただければと思います。コロナウィルス感染状況を見極め、短い期間で準備を進めました。演技の練習では、昨年度の経験を活かしながら上の学年の児童が今年初めての1年生や4年生にお手本を示したり、寄り添って教えたりして高め合っていました。教室での学習でもそうですが、自分が理解していることを他の人に伝えることは、伝える本人にとって自分の理解を確かめたり、理解をより深めたりするのにとても意味のある活動です。また、下級生も上級生の立派な姿を見て、そのような姿を目指すきっかけとなります。上川井小ならではの縦のつながりの良さを感じる一場面でした。

上小オリンピックに向けて、4年生～6年生は様々な係に所属して仕事を担当します。応援団や開閉会式の進行や放送、プログラムや掲示物の作成等の準備を3回のオリンピック委員会の時間に行いました。自分たちの上小オリンピックを自分たちの力で盛り上げようと担当の職員と一緒に工夫を凝らして主体的に取り組んでいました。また、リレーの選手たちは、朝の練習や自主的な練習で走りやバトンパスを磨いていました。上小オリンピック当日、自分の作ったものが使われていたり、練習の成果を発揮して活躍できたりすることで、子どもたちの中に自信や自己有用感が育ってくれることを願っています。

上小オリンピックでの子ども一人ひとりの頑張りをぜひご覧いただき、大きな拍手で盛り上げてください。どうぞよろしく願いいたします。

